

令和6年度 わいわい芋堀りまつり実施報告書

実施日：令和6年10月12日（土）9時30分～13時00分

受付：9時30分

芋堀り時間：1回目（10時～）、2回目（11時～）

実施場所：中丸コミセン及び周辺の芋畑

参加人数：約310人

1. あいさつ（9：30分）

秋空の下、清水中丸地区自治会会長の挨拶並びに萩谷副村長の挨拶をいただきました。そして多くの方の参加により「わいわい芋堀りまつり」が始まりました。



清水中丸地区自治会会長の挨拶（イモゾーの帽子が似合いますね。）



萩谷副村長から挨拶を頂きました。ありがとうございました。

2. 芋堀り



芋畑に向かって大行進です。芋は、どこだ！ どこなのよ！ 誰かいるよ・・・



とったよー 大きな芋だね。どう凄いでしょう。お母さんも良かったね。



イモゾーがきた・・・状況確認ですか！それとも自分も芋堀りしたかったのかな？



お兄ちゃん取ってきたの、私の芋なかなか取れないのよ・・・どれどれお母さんが・・・

3. 物販販売など



左から焼き芋販売 ポップコーン 綿あめ 飲み物コーナー
綿あめ、ポップコーン及び焼き芋は、完売です。良かったです。

●今回は、南中の学生十数名がボランティアとして参加してもらいました。受付、物販販売や大いもコンテストの計量等対面での業務をしてもらいました。また、後片付けも手伝ってもらい大いに助かりました。遊んだりしていますが、やるときは一生懸命でした。色々な人たちと交流ができ良かったと思います。引率の先生、大変

お世話になりました。ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。



ボランティアの学生さん、お世話になりました。



茨城県警からパトカーの展示がありました。皆さん興味津々です。運転席に乗ることができました。(パトカーとみんなと)



地区自治会長と警察官（何か呼び止められているみたいです！）

3. 大いもコンテスト



計量の様子（番号を確認し、計量値を手際よく入力。）



大いもコンテスト第1位は、2kg超えのさつま芋（提灯型）を収穫したお子さんです。
おめでとうございます。商品は、茨城産こしひかり（10 kg）です。
ケーブルテレビ JWAY が受賞風景を撮影していました。

4. 抽選会



皆様これから抽選会の始まりです。ワクワク、ドキドキ💓ですか？



特賞、おめでとうございます。待ったかいがありましたね。オーブントースターです。



令和6年度 わいわい芋堀りまつり実施要領 (紅あずま)

1. 目 的

食欲の秋、読書の秋、この季節に、自分たちが食べている「さつま芋」は土の中でどのように育っているのかなど収穫体験を通して知ってもらうこと。子供たちと一緒に芋堀りを楽しみましょう。

そして地域での交流の機会を増やしお互いの親睦の機会を設け、住み良い地域づくりのきっかけ作りを行うとともに、実りの秋を地域全体で享受しましょう。

2. 主 催

中丸地区自治会&東海村青少年育成村民会議中丸支部

3. 開催日時

令和6年10月12日(土) 午前9時30分午後1時、雨天時10月13日(日)

4. 開催場所

中丸コミセン及び周辺圃場(芋堀場所参照)

5. 参加対象及び人数

村民及び中丸地区住民、200人

6. 実施内容

●わいわい芋堀り体験(1回目10:00~ 2回目11:00~)

- ・1人200円の参加料を徴収し、圃場で芋堀り体験
- ・受付時に渡したレジ袋(M)1袋分について、持ち帰りとする。

●大いも(1本当たりの重量)コンテスト

- ・掘った芋(一本)の重さを計量し上位者に商品贈呈(3人)

●わいわい芋焼き販売(10:30~)

- ・本格焼芋機で焼いた焼き芋を1本100円で販売

●綿あめ、ポップコーン販売(10:00~)

- ・各10円で販売

●飲み物販売(10:00~)

- ・ペットボトル各100円で販売

●抽選会(12:30~)

- ・抽選で16人に記念品贈呈
- ・特賞1本/1等1本/2等2本/3等3本/4等4本/5等5本

●パトカーの展示及び写真撮影

●~~バルーンアート~~(今回は、取り止め)

●イモゾー特別出演(新規)

7. 申し込み及び参加費

- ・事前申し込みとし、当日受付時に参加費として1人200円を徴収し、レジ袋(M)を渡す。

8. 広報・PR方法

- ・中丸地区自治会内回覧

- ・中丸小学校チラシ配布（児童全員に配布）

9. その他

- ・スタッフ集合時間は、午前7時30分とする。
- ・中丸コミセン東側の広場にテント4張を設置（わいわい芋掘りまつりテント配置図参照）
- ・徒歩での参加を呼びかける。
- ・多数の応募があった場合は、抽選とする。

試し堀り & 焼き芋作業



集合日時：10月5日（土） 午前9時

●目的

- ・わいわい芋掘りまつりを開催するにあたり、芋の発育状況の確認を兼ね、まつり当日の焼き芋用の芋を事前に掘り起こし洗浄した後、当日まで調理室で保管する。
- ・調理室のコンベックレンジで焼き芋づくり（概ね250℃で50分程度）併せて芋掘りまつり当日の準備をする。

●焼き芋用芋試し堀り（親睦推進員及び運営委員）

- ・地主立会いの下、芋畑の掘り起こし範囲を確認し、四つ角に目印を立てる。
- ・道路側から鎌を使って芋のつたを刈り取った後、手作業で芋を10コンテナ（約400本）掘り取る。
- ・コンテナをコミセンの調理室の東側駐車場まで運び、水道及び井戸水を使って芋を洗う。
- ・洗った芋をコンテナに入れ調理室に持ち込み、再度、洗浄した芋は、調理台の上に並べ、イベント前日まで保管する。

- 本日、15名が参加し、芋掘グループと調理室グループの二手に分かれて開始しました。



二畝、芋の掘り起こし開始。小雨の中、皆さん頑張ります。



道路側の一畝を掘り起こした後、土をならします。集中集中・・・



収穫した芋（コンテナ10個）を軽トラで公園内の東屋へ搬送。お疲れ様でした。



井戸水で土を除去



芋洗い、結構手間がかかりました。また、形も様々で達磨、ニンジン、タツノオトシゴ、ゴボウや提灯型等、いろいろありました。芋掘りも、各種の作業があり、値段に反映することが良く分かりました。（何事もいろいろな手順があるものですね！）



芋洗いの様子



後片付け&清掃



調理室で仕上げ洗いをし、調理台に並べた焼き芋用の芋です。見事です。群生した花のように見えます。11月11日（金）に焼きます。これだけ焼くのも大変ですねん。



コンベックレンジ



試し焼き芋出来上がり。美味しそう。熱々・・・

●皆様の協力を得て、本日の作業は、すべて完了しました。参加者全員で、焼き芋の試食と昼食を頂きました。焼き芋は、ほくほくで美味しかったです。小雨降る中、お世話になりました。そして、お疲れ様でした。12時に解散しました。

前日の焼芋作業

集合日時：10月11日（金）午前9時

●テント設置及び機器の配置

- ・テント4張りに屋根を取り付け、所定の位置に配置する。
- ・各テントにテーブル6台、椅子10脚をコミセン裏の自治会倉庫及び多目的ホールから持ってきて配置する。雨天時は、必要数を夕方までに東側出入口に準備しておき、当日の朝、テントまで運ぶ。
- ・テント周辺には、必要に応じて風除けシートを設置する。
- ・テント用杭及び木槌を用意する。

●表示類の設置・受付、販売ブースに案内看板を設置する。

- ・駐車場にカラーコーンセットを設置する。
- ・パトカー駐車場所を確保する。
- ・来賓駐車場を確保する。
- ・表示類の設置状況を最終確認する。

●焼き芋調理

- ・芋を1本ごとアルミ箔で包み、4台のコンベックレンジにて250℃、50分程度で焼き上げ、発砲スチロールの箱で保管する。販売当日、再度、オーブンで火をとおり、1本100円で販売する。

- 本日は、8名（女子3名、男子5名）及びコミセン職員3名が参加しました。男子は10名程度の参加予定でした。前日に確認の電話などが必要と思います。テントの機材を倉庫から児童公園への運搬が大変でした。10名程度は必要です。

テントは全て6脚なので立ち上げ及び移動は6名（本日の対応者）が必要でした。後期高齢者の私も微々力ですが役に立ちました。

仲田センター長と参加者で、白方コミセン等に機材の借用のため出向きました。

さらに、各テント、テント収納袋及び支柱などに附番しました。



左からテント①（受付等）、テント②（焼き芋、ポップコーン、綿あめ）、テント③（飲み物）、テント④（休憩所）。この後、テントの屋根をおろしました。



焼く前の芋&右奥にコンベックレンジが4台配置されています。時間がかかります。



もう焼けたかな？ 大丈夫みたいね・・・手前の台にあるのが、出来上がりです。

別紙1 わいわい芋掘りまつり 申込書

わいわい芋掘りまつり 申込書

氏 名	住 所	電話（携帯）番号

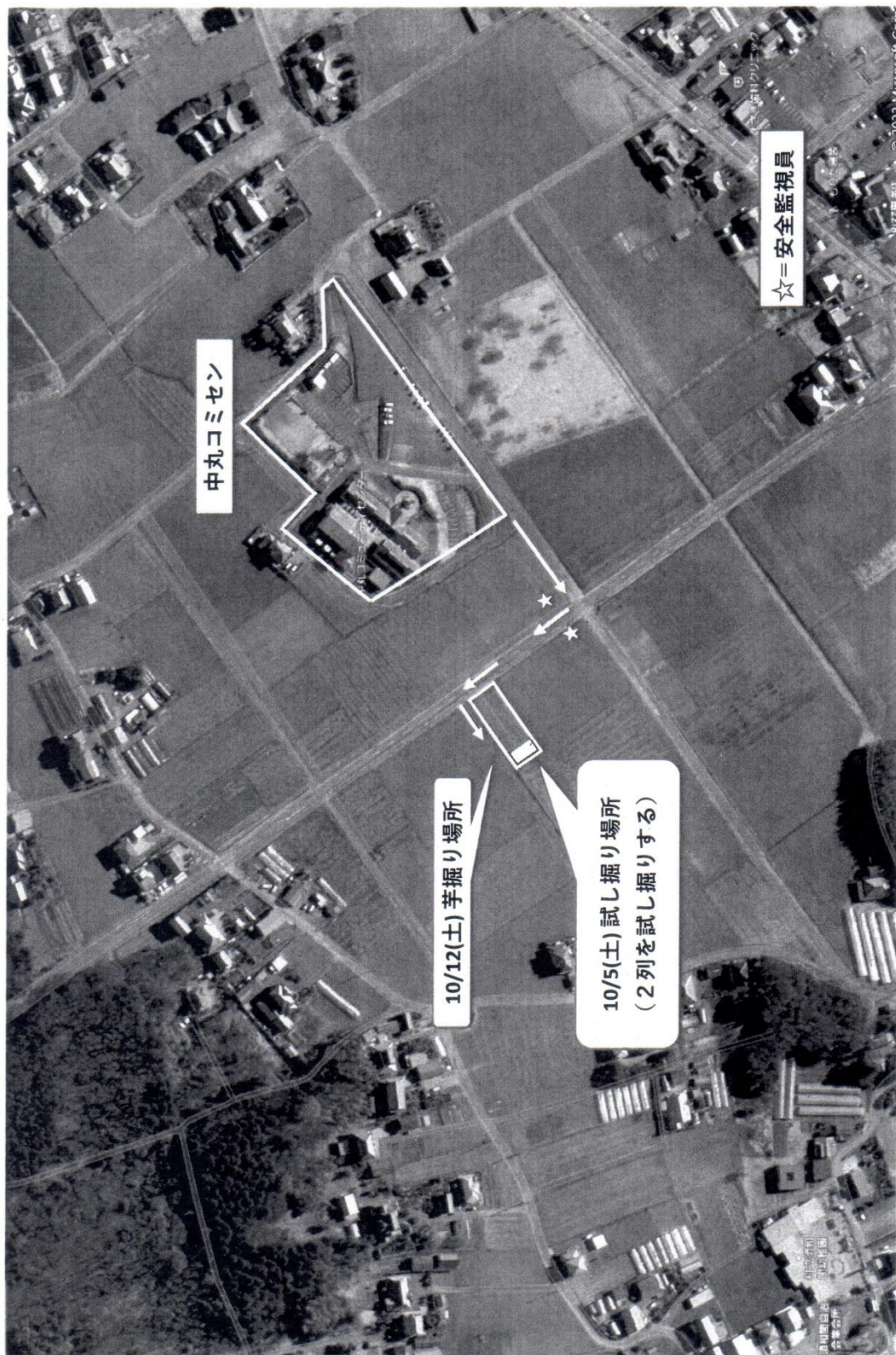
※参加費 1名 200円 10/3（木）までに直接、中丸コミセンへお申込みください。

※参加者全員の記入をお願いします。

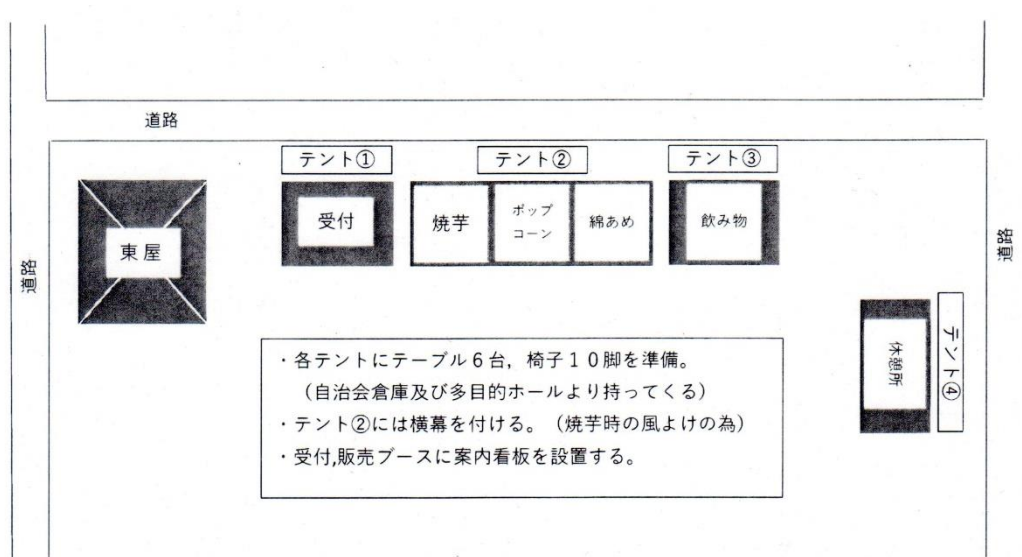
----- キリトリセン -----

別紙2 令和6年度 芋掘り場所（圃場：ほじょう；畑だけではなく田んぼも含めた、農作物を栽培するための場所のことを言います。一般的に農場と呼ばれる。）

芋掘り場所



別紙3 わいわい芋堀りまつり テント配置図及び設置状況



- 本日（11月11日）のテント張り作業は終了です。明日、テントを立ち上げ固定します。参加者の皆様、お疲れ様です。引き続き、明日もよろしくお願いします。
焼き芋担当の方は、午後5時頃までかかるそうです。ご苦労様です。よろしくお願いします。

中丸地区自治会

わいわい芋掘りまつり!!

実施日：令和6年10月12日(土)雨天時10月13日(日)

時間：受付：9時30分

芋掘りは10時/11時の2回に分けて実施

場所：中丸コミセン及び周辺いも畑

参加費：1人200円 (レジ袋1袋お持ち帰りできます)

募集人数：200名 (申込多数の場合は抽選)

☆ 販 売 ☆

- ・綿あめ/ポップコーン販売 各10円：10時00分～
- ・飲み物販売(ペットボトル)各100円：10時00分～
- ・焼芋販売 1本100円：10時30分～

☆ 催 し 物 ☆

- ・大いもコンテスト
(上位入賞者に豪華賞品贈呈)
- ・お楽しみ抽選会：12時30分～
- ・パトカー展示及び写真撮影
- ・いもソ-特別出演!!



添付の申込用紙に必要事項をご記入のうえ10/3(木)までに
直接コミセンにお申し込みください。

中丸コミュニティセンター 電話：287-2128

共 催：中丸地区自治会／青少年育成東海村民会議中丸支部

「さつまいも」はどこから来たの

生まれは熱帯アメリカ

「さつまいも」は、メキシコを中心とする熱帯アメリカで生まれました。紀元前 800～1000 年ごろには、中央アンデス地方で「さつまいも」がつくられていたのです。紀元前 200～600 年につくられた、「さつまいも」をかたどった土器も見つかっています。ペルー北海岸のあたりで栄えたモチーカ文化のもので、

ヨーロッパでは

ヨーロッパへは、コロンブスが 15 世紀の終わりにアメリカから持ちかえったのが始まりです。でも、すずしすぎて気候があわなかったのも、あまりつくられなかったのです。あたたかいアフリカ、インド、東南アジアの植民地（しょくみんち）に持ちこまれたことで、世界中に広がりしました。

東南アジア・ポリネシアでは

東南アジアへはスペイン人やポルトガル人が持ちこんで、その後中国へと広がったとされています。

ですがそれよりずっと前、熱帯アメリカからポリネシアの島々に持ちこまれたという話もあるのです。これが本当のことかを試してみたのは、ノルウェーの探検家ヘイエルダール。1947 年、かれは古代のいかだと同じものをつくって南米ペルーから太平洋をわたり、102 日かかってタヒチまでたどりつきました。このことは「コンチキ号探検（たんけん）記」という本にまとめられています。

日本では

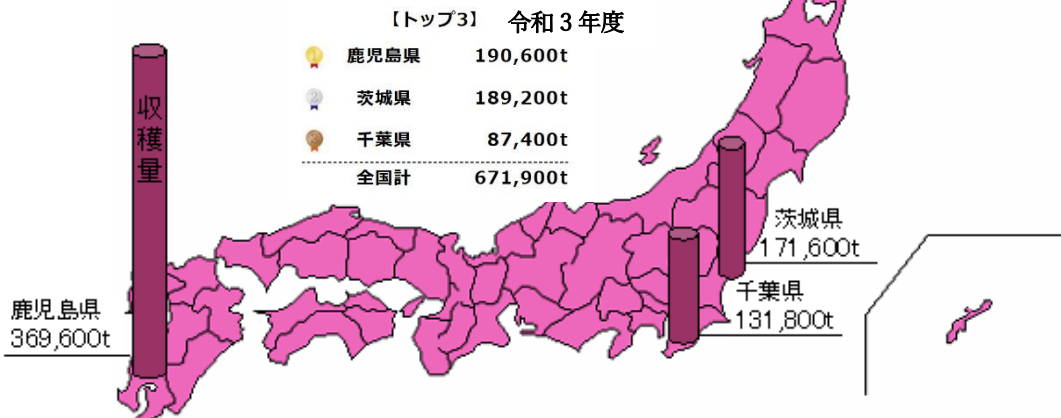
1600 年ごろ、中国から日本にやってきました。琉球（りゅうきゅう；今の沖縄県）から薩摩（さつま；今の鹿児島県）に伝わったので、「さつまいも」とよばれています。中国から来たいも＝からいもとか、中国での名前と同じく、かんしょ、ともよばれていたそうです。

八代将軍（しょうぐん）吉宗（よしむね）のころに、蘭学者（らんがくしゃ）の青木昆陽（こんよう）によって全国に広められました。今の埼玉県川越市（かわごえし）あたりは「さつまいも」の産地で、江戸から十三里（じゅうさんり）あったので、ここから来る焼きいも屋のことを「十三里」とよんでいました。それにひっかけて、焼きいも屋が「栗（九里）より（四里）うまい十三里（9+4=13）」とふれて売っていたそうです。

◇サツマイモ生産地ランキング

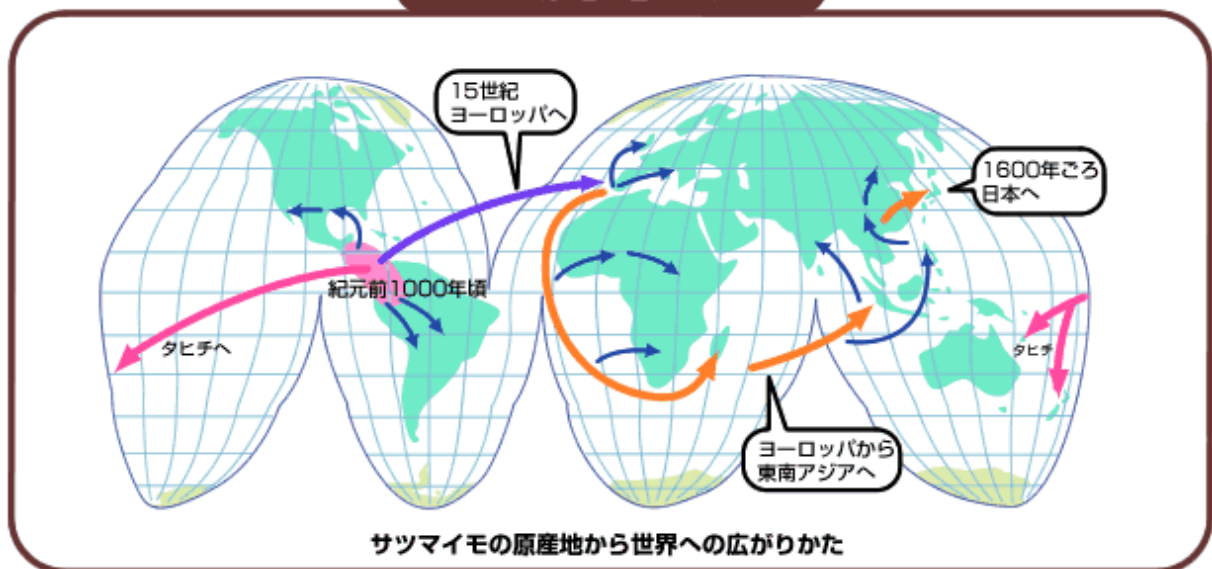
サツマイモを育てるのによい温度は20～30℃。ですからあたたかい北関東より南で多くつくられます。一番収穫の多い鹿児島県では、2月に植えて、5～6月に収穫されます。秋には、茨城県と千葉県でとれはじめます。このときにとれたいもは貯蔵して、次の年のいもがとれるまで少しずつ出荷されます。

◆世界でとれる量の8割以上が、中国でつくられています。ウガンダ、ナイジェリア、インドネシア、ベトナムなどがこれに次ぐ生産国です。



資料名:「平成19年度かんしょの作付面積及び収穫量」(農林水産省統計部)

どこからきたの？



「さつまいも」の主な種類

★紅はるか★**紅あずま**★安納芋★金時さつまいも★いづみ
★安納芋こがね★安納芋べに

さつまいもの苗

